## 原発がこわい女たちの会

http://blog.zaq.ne.jp/g-kowai-wakayama/

≪ 2014年05月 トップ | 2014年07月 ≫

検索

検索

2014年06月15日(日)

## 子どもたちの未来と被ばくを考えるつどいのお知らせ

放射能汚染による被害を最もこうむるのは次の世代を担う子どもたち。「子どもたちの未来と被ばくを考える会」は、子どもたちが被ばくから守られ安心安全な環境の中で生きていけるよう、大人に何ができるのか考え、学習し行動するグループです。

http://kodomomiraikibou2012.seesaa.net/

結成して3年目のつどいが、次のように開かれます。

~子どもたちの未来と被ばくを考えるつどい~ 『原発事故子ども・被災者支援法について』

とき 2014年6月21日(土)

13:15~13:50「子どもたちの未来と被ばくを考える会」第3回総会 14:00~16:00 講演『原発事故子ども・被災者支援法と、うのさえこさん の避難の話』

ところ 和歌山ビッグ愛9F 会議室

(和歌山市手平2丁目1-2 2073-435-5200)

参加費 無料

主 催 子どもたちの未来と被ばくを考える会

連絡先 和歌山市三番丁6番地関西電電ビル4階 金原法律事務所内 073-451-5960 (松浦)

......

講師うのさえこさんは、

福島市に居住し、2010年福島第一原発3号機のプルサーマル運転受け入れに反対し、脱原発福島ネットワークに参加。同年秋ハイロアクション福島原発40年実行委員会結成に参加、実行委員長に。2011年3月同会のオープニングイベント開催を目前に311に被災、避難。現在は京都府京田辺市に在住。避難の後も、福島原発告訴団、原発いらない福島の女たち、原発事故被害者の救済を求める全国運動(共同代表)などで脱原発、脱被曝、被災者支援のための情報発信を続けておられます。

※「ハイロアクション福島原発40年実行委員会」は、持続可能な社会をめざし、福島原発が40年を迎える 2011年3月26日からの1年間を、廃炉と廃炉後の地域社会の未来図を構想し行動する「ハイロアクション 年」としようと結成。この日、オープニングイベントをいわき市で開催する予定となっていました。

ネット上でうのさんの手記を目にしました。

「いつ帰ってこれると思う?」という友人の言葉に、私は一瞬つまり、「帰ってこられないかもしれない」と答えました。その後は黙って、私たちは西へ向かって出発しました。

事故発生後からの約1週間は、なるべく安全な場所へ避難しつつ、思いつく限りの友人知人と連絡をとりながら、避難を促すことに力を注ぎました。「間に合わなかった。ついに起きてしまった」という悔しい想いと底知れぬ怒りと悲しみを時に爆発させながら。

http://www18.ocn.ne.jp/~nnaf/109d.htm

胸に迫るものがあります。事故直後、原発の危険性を知らなかった、騙されていた、という声が圧倒的でした。少数の「知っていたのに、何も行動してこなかった」という人もいました。うのさんのように原発に反対していたのに「間に合わなかった」という人も。思うところはそれぞれですが、共通するのは「悔しい想い」でしょう。

アーカイブ

2016年11月(2)

2016年10月(1)

2016年09月(1) 2016年08月(2)

2016年07月 (4)

2016年06月(2)

2016年05月(1)

2016年04月(3)

2016年03月(2) 2016年02月(3)

2016年01月(2)

2016年01月(2)

2015年12月(4)

2015年10月(1)

2015年09月(3)

2015年08月(3)

2015年07月(2)

2015年06月(2)

2015年05月(2)

2015年04月(2)

2015年03月(2)

2015年02月(2)

2015年01月(5)

2014年12月(3)

2014年11月(2) 2014年10月(2)

2014年09月(2)

2014年08月(1)

2014年07月 (2)

2014年06月(1)

2014年05月(3) 2014年04月(4)

2014年04月(4)

2014年02月(1)

2014年01月(3)

2013年12月(4)

2013年11月(1)

2013年10月(3)

2013年09月(5)

2013年08月(1)

2013年07月(3)

2013年06月(5)

2013年05月(3)

2013年04月(2)

2013年03月(6)

2013年02月(2)

2013年01月(3)

2012年12月(2)

2012年11月(1)

2012年10月(2)